

# 哲學研究

第三十五卷 第二冊

第四百號

昭和二十六年二月一日發行

論 理 性 . . . . . 山 內 得 立

未 開 社 會 考 . . . . . 臼 井 二 尙

道 德 的 事 實 と 社 會 的 事 實 . . . . . 島 芳 夫

『哲學研究』三十五年(朝永三十郎・高坂正顯・  
中井正一・服部英次郎・澤瀉久敬・井島勉)

別冊『哲學研究』總目次(自第一卷至第三十四卷)

京 都 大 學 文 學 部 內  
京 都 哲 學 會

## 京都哲學會規約

- 一、本會は廣義における哲學の研究とその普及を圖ることを目的とする
- 一、右の目的のために次の事業を行ふ
  - (一) 毎月一回研究会を開く
  - (二) 毎年公開講演會を開く
  - (三) 毎月一回「哲學研究」を發行する
- 一、本會の事業を遂行するために委員若干名をおく、委員は京都大學哲學科教官及び委員會において推薦した者に委嘱する
- 一、本會は會員組織とし、會員には資格の制限を設けない、學校・圖書館・其他の團體は團體の名を以て入會することもできる
- 一、會員は會費として年五四〇圓、又は半年二七〇圓を前納する
- 一、會員は會誌の配布を受け、會誌に豫告する諸種の行事に出席することができる
- 一、本會は事務所を京都大學文學部内におく
- 一、本會規約の改正變更は委員會の決議による

## 京都哲學會役員

委員

有賀鐵太郎	白井二尙	上野照夫	重澤俊郎	下程勇吉	島芳夫	關原太郎	高田三郎	武内義範	田中美知太郎	長尾雅人	野田又夫	松尾義海	三村勉	矢田部達郎	山内得立	井島勉
-------	------	------	------	------	-----	------	------	------	--------	------	------	------	-----	-------	------	-----

アナロギアの論理性については又別に論じたい、この稿の執筆後に James F. Anderson: The Bond of Being を読む機会に恵まれて得るところが甚だ多かつた、今はたゞこの論理の論理性と歴史的なる位置づけとを試みるに止めたのである。

前 號 目 次

支那思想に於ける自由と必然……	重 澤 俊 郎
危機神學の生成とその展開(承前)……	樋 元 和 一
— 近世前期フランス精神史論 —	
ヘーゲルに於ける人倫の成立……	岸 畑 豊
一過程	
兒童心理學の近況(岡原太郎)	

つてくれているのは、初めに小田武現關學講師、現在は哲學教室の三村勉助手であり、庶務會計は以前から山内得立教授の責任の下に上野照夫講師が擔當してをられる。

古く尊い傳統を護ることは、決して容易な事柄ではない。諸先輩によつて築かれた孤高なる學術的水準を堅持すること、一般讀者層の要望に應へることの調節に、常に意を用ひなければならぬ状態である。編輯の根本方針は、繼承したままを踏襲してゐる。ただ折にふれて學界の展學を載せ、責任ある書評の類をふやして、讀者の便益に供することとした。外國の學界との聯繫を意圖して、英文の要旨を掲載し始めたが、すでに一部の好意ある反響を得てゐる。

學術誌の使命から考へて、原稿枚數に制限を設けることは適當ではない。しかし、やむを得ない頁數の不自由を最大限に活用するためには、特別の場合を除いて、できるだけ連載を避けねばならぬこととなつた。一日も早くかかる制約が除去される機會の到來が待望されるけれども、當分の間、寄稿諸家の御協力を期待したい。

現今の經濟狀勢下に、類例の乏しい月刊の純學術雜誌を維持することは、もし發行所弘文堂書房の理解と寛容がなければ、殆ど不可能に近い。特に附記して謝意を表したいと思ふ。「哲學研究」は京都哲學會の機關誌であるが、單なる京大哲學科の同人誌ではない。全國的な規模において、廣義の哲學研究に従事するすべての人々に支持されて、哲學界の發展に貢獻すべき光榮ある使命を有してゐる。その達成のために、大方の御援助

『哲學研究』三十五年

が祈られる次第である。

一九五一・一・二〇

執筆者紹介

山内得立	京都大學文學部(哲學)教授
白井二尙	京都大學文學部(社會學)教授
鳥芳夫	京都大學文學部(倫理學)教授
朝永三十郎	京都大學文學部(西洋哲學史)名譽教授
高坂正顯	元京都大學人文科學研究所(哲學)教授
中井正一	國立國會圖書館副館長
服部英次郎	名古屋大學文學部(哲學)教授
澤瀉久敬	大阪大學文學部(哲學)教授
井島勉	京都大學文學部(美學・美術史)教授

# 會 告

- 一、本會へ入會希望の方は京都市左京區田中西浦町弘文堂内京都哲學會係宛に規定の會費をお拂込下さい
- 「振替口座京都一九五五六番 京都哲學會」
- 一、前金切れの場合は帶封に「前金切」の印を捺しますから直ちに御拂込下さい
- 一、會員の轉居入退會等(編集事務以外は一切)の事務は弘文堂内京都哲學會係へ御通知下さい
- 一、本誌の編集に關する通信・新刊書・寄贈雜誌等はすべて本會宛にお送り下さい

京都大學  
文學部内  
京都哲學會

## 註 文 規 定

- 一、會員以外の購讀者の御註文及び廣告に關する件は「弘文堂」へ御申込下さい
- 一、本誌の御註文はすべて代金郵税共前金にてお送り下さい
- 一、特に請求書及び領收書等を要する場合は郵券八圓をお送り下さい

昭和二十六年一月廿五日印刷  
昭和二十六年二月一日發行

編 集 人 京 都 哲 學 會  
京 都 大 學 文 學 部 内

右 代 表 者

發 行 人 三 村 勉  
酒 井 明

印 刷 人 鈴 鹿 幸 保  
京 都 市 田 中 西 浦 町 四 〇

印 刷 所 弘 文 堂 印 刷 部  
京 都 市 田 中 西 浦 町 四 〇

發 行 所 株 式 會 社 弘 文 堂  
東 京 都 千 代 田 神 田 駿 河 區 四 ノ 四

定 價		冊 數	定 價	郵 税
一 冊	四十五圓	金三圓		
六 冊 (前 金)	二百七十圓	金十八圓		
七 冊 (前 金)	五百四十圓	金三十六圓		

(誌代の變更による會費の過不足は半年又は一年毎に精算いたします)

# THE JOURNAL OF PHILOSOPHICAL STUDIES

THE TETSUGAKU KENKYU

---

---

Vol. XXXV

February, 1951

No. 2

---

---

*Logic as Logics*.....Tokuryu Yamauchi

*A Sociological Analysis of Primitive Society*..... Jisho Usui

*Moral Fact and Social Fact*..... Yoshio Shima

*Reminiscences :*

*Memoirs of former Editors, compiled on the Occasion  
of the 400th Issue of our Journal*

*Complete List of the Articles in Vols. I-XXXIV*

Published Monthly

By

**THE KYOTO PHILOSOPHICAL SOCIETY**

(The Kyoto Tetsugaku-Kai)

Kyoto University

Kyoto, Japan